

### 1 受賞団体・個人の名称

わたなべかじゅえん えんしゅ わたなべきよし  
**渡辺果樹園 園主 渡辺 喜吉**  
 (福島県須賀川市)

(問い合わせ先)  
 TEL:0248-73-4174 FAX:0248-72-1275  
 (経歴)

18歳で就農、32歳で経営移譲。平成10年複合性F10EIN剤導入、殺虫剤削減防除開始、平成12年福島県中地区で初めて日本ナシのECOPARMA - 認定、平成14年農薬成分使用回数県基準の5割削減達成、平成16年日本ナシ220aで特別栽培農産物認証取得。平成19年から近隣のナシ生産者3戸120a加わる。(受賞時の経営内容) ナシ専業4.6ha、労働力(農家戸数)8名(4戸)



### 2 生産面の取組

土づくりの実践: 植物性米ぬか発酵による堆肥づくり

- ・自ら堆肥盤設置: 毎年250~300t堆肥製造
- ・堆肥原料: 米ぬか、鶏ふん、マイタケ菌床、モミガラ、木の葉、刈取草、竹炭
- ・自家ナシ園堆肥施用量: 毎年4t/10a

化学肥料の削減  
 ・通常施肥: 化学肥料一切使用せず  
 ・数年おきに土壌分析実施 施肥量決定  
 ・窒素成分: 12kg/10a (福島県慣行基準25kg/10a)

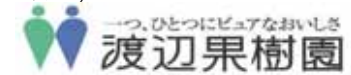
- ・特別栽培農産物がアイコン表示 「化学肥料: 栽培期間中不使用」  
 化学合成農薬の使用削減
- ・特別栽培用防除暦による防除実施: 化学合成農薬成分使用回数20成分以下 (福島県慣行成分使用回数40成分)
- ・多目的防災網の設置
- ・スピードスピラの効果的使用: 異なる散布ノズルの組合せ
- ・殺虫剤: BT剤(微生物農薬)等使用により天敵保護
- ・ほ場の病虫害発生状況を常に観察: 多発する前に対応
- ・特別栽培者3戸にも情報伝達: 防除薬剤の選択等協議
- ・耕種的防除の徹底
- ・芽かき、摘心の徹底、適切な枝の配置
- ・樹の地上部・地下部のバランスを考慮した疎植栽培



### 3 経営面の取組

特別栽培に見合う付加価値のついた安定した単価で販売 値決めは本人販売先は独自に開拓 評判が実需者間に広まる。  
 毎年収穫前に商談のため取引先訪問

- ・独自ブランド維持のための大玉生産(「幸水」3L以上)
- ・摘蕾の徹底による開花数制限
- ・早期摘果作業の実施
- ・良好な土壌物理性維持: 排水対策、堆肥投入
- ・専用または量販店通いコンテナによるダンボール利用削減
- ・ブランド性: マークの商標登録(専用コンテナに使用)
- ・規格外ナシ果実: 生食ナシがない時期の加工品開発検討



### 4 取組の成果

人数: 平成16年1戸(5名) 19年4戸(8名)  
 経営面積4.6ha (日本ナシ3.4ha、西洋ナシ1.2ha)  
 特別栽培日本ナシ栽培面積: 平成16年2.2ha 19年3.4ha  
 平成21年産特別栽培日本ナシ販売量: 約120t  
 販売単価: 300~350円/kg (一般200円/kg程度)  
 販売比率: 30%顧客(全国に約1,000名)  
 70%量販店(約200社)  
 新規取引希望量販店増加(平成20年新規7社 22年新規10社)

### 5 地域社会への貢献

- ・消費者との交流活動
- ・取引量販店における対面販売・栽培情報の提供
- ・環境保全型農業への理解推進

顧客へと発展 **生産者と消費者との絆づくり**

- ・耕作放棄地・遊休農地等の利活用
- ・地区内遊休農地100a購入 F10EIN新規植栽
- ・新たな果樹品目導入による規模拡大
- ・高度な栽培管理の徹底・独自ブランドの確立
- ・毎年安定した再生産可能な価格でナシを販売
- ・特別栽培の取組み: 自らの技術や知識を仲間に提供 個から群に

